

430MHz帯 可変形バンドパスフィルター

MODEL CF-430VB 取扱説明書

430MHz帯可変BPFは送信時において低・高調波のスプリアスを防止し、クリアな送信ができます。受信時は周波数特性をシャープな設計にし、430MHz～440MHzの間で可変できる様になっているため特にローカル局の混入を防止します。又、機構的にハイパワーで設計されています。

仕 様

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| (1) 周波数可変範囲 | 417MHz～450MHz |
| (2) 挿入損失 | 1.0 dB |
| (3) 減衰量 | 図-2に示す |
| (4) 入出力インピーダンス | 50 Ω |
| (5) 許容入力 | コネクター破壊まで |
| (6) V. S. W. R | 1.2 以下 |
| (7) 入出力接点 | N形 |
| (8) 重量 | 3.74Kg |
| (9) 形状寸法 | W 180mm×D 180mm×H 180mm
(突起物は含まない) |

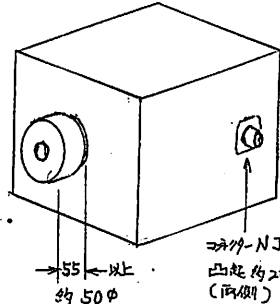
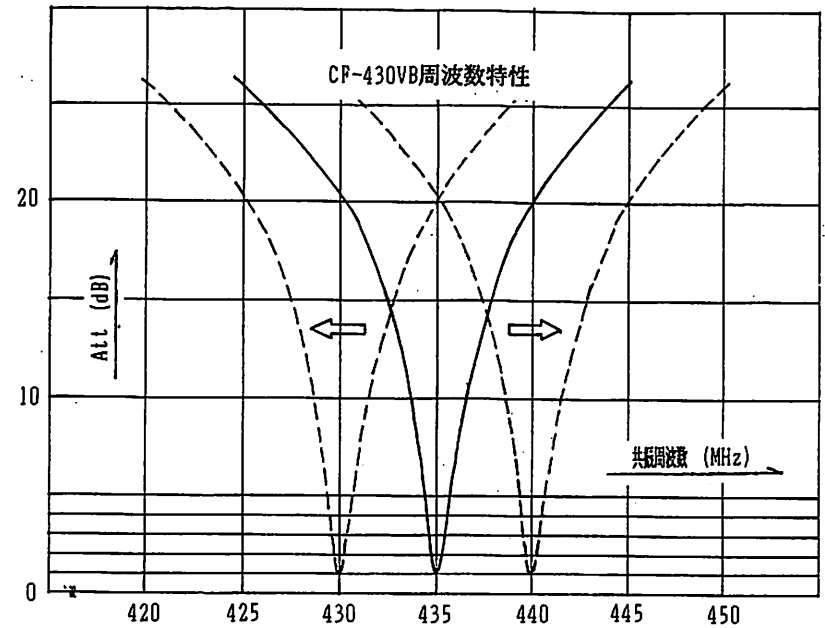


図-2



フィルターの使用法

- ダイヤルをダイヤル校正グラフのダイヤル目盛に合わせる事により、希望周波数に共振させる事ができます。
- フィルターは図-1のように送信機出力回路、又は、受信機入力回路とアンテナとの間に挿入して使用します。フィルターは入出力の極性はありません。ブースター又はリニアアンプを使用する場合にも同様にリニアアンプとアンテナとの間に接続します。

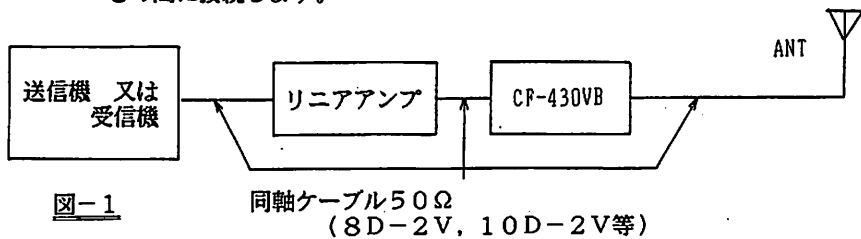
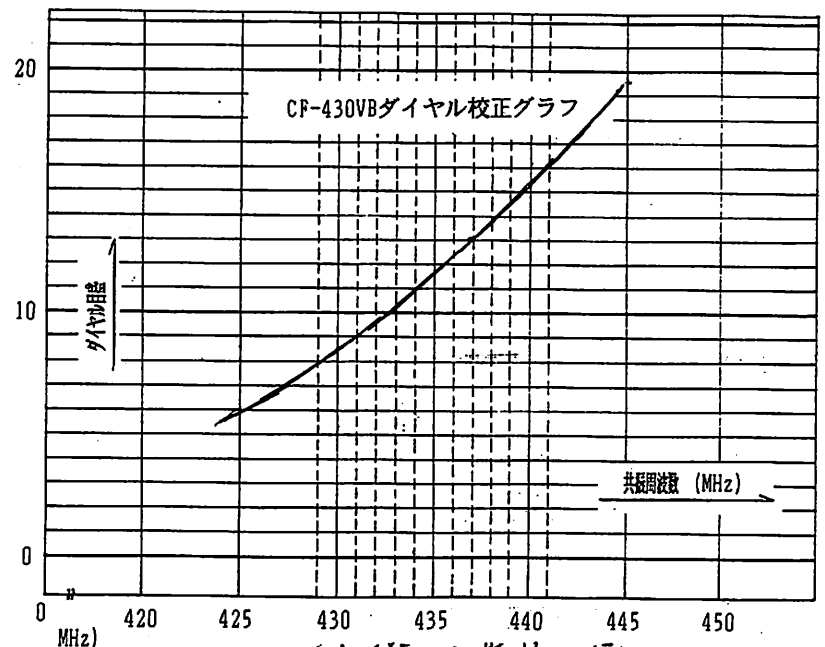


図-1

使用上の注意

- アンテナと送受信機の整合は正しく行って下さい。整合が悪い場合フィルターの効果は半減します。SWRメーター等にて、できる限り1に近付けることにより正しい整合が行われます。
 - 本品は防水形ではありません。
 - アンテナからフィルターまでの同軸ケーブルはロスが少ないものを使用することにより、より良い送受信ができます。
- ※ 受信専用として使用される場合、挿入損失を2～3dBとしてフィルターの特性をシャープにしますと混信等が軽減されます。

図-3



(上グラフは特性の例です)
コメント株式会社

本社：〒336 埼玉県浦和市辻4-18-2 ☎048-839-3131(代) FAX. 048-839-3136
 大阪営業所：〒560 大阪府豊中市豊池東町4-1-15 ☎06-844-0693 FAX. 06-853-2011
 仙台営業所：〒982-01 仙台市若林区上飯田横堀87-1 ☎022-285-9506 FAX. 022-285-9507
 福岡営業所：〒816 福岡市博多区井根田2-2-5 第3七福ビル ☎092-592-2531 FAX. 092-592-2532
 札幌営業所：〒004 北海道札幌市厚別区厚別南4-34-3 ☎011-892-7575 FAX. 011-892-7571

性能向上の為、予告なく外觀、仕様を変更する事があります。